

2025 年度 神戸市外国語大学 科目等履修生 募集要項
(一般課程・語学課程)

1. 出願資格

学校教育法第 90 条第 1 項に定める資格（大学受験資格）を有する者。

※外国人出願者は事前に全履修許可期間の在留資格を得ている必要があります。

※2024 年度科目等履修生で継続の場合も出願手続は毎年必要です。(自動更新ではありません。)

2. 科目について

(1) 履修可能な科目

一般課程・語学課程科目（別表参照）

なお、2025 年度開講授業科目の時間割、講義内容は出願受付時に発表します。

〔注意〕履修を許可された科目に本学学生の受講者がなく、開講不可能となった場合、当該科目の履修許可を取り消すことがあります。

(2) 科目数等の制限

1 年間に受講できる科目数の上限は、通年科目の場合 9 科目（半期科目の場合 18 科目）です。ただし、各半期内で通年科目、半期科目合わせて 9 科目までです。

3. 定員

総定員 : 86 人

〔注意〕志願者が上記の定員に達しない場合でも、選考結果によっては入学を許可しないことがあります。

4. 出願手続き

(1) 出願期間及び場所

① 期間 2025 年 3 月 6 日 (木曜) ~ 2025 年 3 月 7 日 (金曜) 各日 14 時~19 時まで

② 場所 本学学舎 (502 教室)

※志願者本人が出願手続を行えない場合は教務入試班 (078)794-8133 までご連絡ください。

(2) 出願書類

提出書類	摘要
① 科目等履修生入学願書	本学所定の用紙 (出願時に配布)
② 最終出身学校の 卒業 (見込み) 証明書または 大学受験資格を証明できるもの	1997 年度~2024 年度の間の本学で科目等履修生として登録された者は、提出不要です。
③ 入学選抜料の 【振替払込受付証明書 (お客さま用) 貼付書】	入学選抜料 8,000 円 ・本学所定の払込取扱票と貼付用紙は教務入試班窓口または出願場所で用意しています。(教務入試班窓口にて 2 月 5 日以降受取可能です) ・郵便局・ゆうちょ銀行の窓口で本学所定の払込取扱票にて納付してください。ATM (現金自動預入払出機) での振込はしないでください。払込取扱票、振替払込請求書兼受領証、振替払込受付証明書 (お客さま用) に住所・氏名を記入してください。 ・受付局日付印の押された振替払込受付証明書 (お客さま用) を、本学所定の貼付用紙に貼り付けて提出してください。 ・継続受講者の入学選抜料は、『(3) 出願上の注意事項③』のとおり取り扱います。
④ 戸籍抄本または旧氏記載の 住民票 (※該当者のみ)	婚姻等により、 ②⑦の証明書の姓名が異なる者のみ提出してください。
⑤ 住民票 (※外国人出願者のみ)	・出願時には、住民票に記載されている氏名を用いてください。 ・発行日より 1 か月以内のものに限ります。

	・1997年度～2024年度の間に本学で科目等履修生として登録された者は、提出不要です。
⑥ 在留カードの写し等、 在留期間を証明する書類 (※外国人出願者のみ)	外国人出願者は、事前に全履修許可期間の在留資格を得ていることが必要です。
⑦TOEIC スコア証明書の写し	語学課程の科目のうち、別に案内する TOEIC スコアを履修要件とするものの履修を希望される方は、当該要件を満たしていることが確認できる TOEIC スコア証明書の写しを提出してください。該当科目の履修要件は変更される可能性がありますので、2025年度4月の履修登録期間に最終の履修要件を満たしている必要があります。

(3) 出願上の注意事項

- ① 2025年度の講義科目・内容・授業曜日・時限などの情報は、出願場所にてご確認いただけます。その講義概要をご確認される場合でも、出願手続きは締切時刻までに、入学選抜料の振込み手続きも含め、完了してください。
- ② 既納の入学選抜料は次の事由以外は返還しません。
 - a. 入学選抜料を払い込んだが、出願しなかった場合。
 - b. 出願書類が不備等により受理されなかった場合。
 - c. 重複して入学選抜料を払い込んだ場合。

上記 a.～c.に該当する場合は、必ず **2025年3月11日(火曜)** までに神戸市外国語大学総務グループ総務班(財務担当)に連絡し、返還請求の手続きを行ってください。TEL 078-794-8123
(受付時間 8時30分～12時30分、13時30分～17時00分 土・日曜日・祝日を除く)
<上記 a.～c.の返還金は、振込手数料を差し引いた金額となりますのでご了承ください。>
- ③ 同一課程に継続出願する場合の**入学選抜料と入学金**について
 - ・「入学選抜料」と「入学金」は、翌年度以降も同じ課程を連続して受講する場合、最初の年度に納付すれば、翌年度と翌々年度の2年間は不要になります。
 - ・連続した3年間で1つの期間とみなします。
 - ・2年目に1科目も受講しない場合、その翌年度以降は新たに「入学選抜料」、「入学金」が必要となります。
 - ・翌年度以降、他の課程に変更する場合は再度「入学選抜料」、「入学金」が必要となります。ただし、一般課程と語学課程は同一課程とみなします。

5. 選考方法

選考は、提出書類、筆記試験または英語面接試験(一般課程:小論文、語学課程:英語面接)、面接試験(全課程)等の内容を総合的に判断して行います。

- (1) 選考日時 **2025年3月13日(木曜)**
- (2) 試験科目及び時間(集合時刻・場所は出願時に通知します。)

- ① ・一般課程:筆記試験(小論文) **10時～11時**
・語学課程:英語面接試験 **10時～**
- ② **面接試験(全課程) 11時45分～**

ただし、語学課程科目のうち、英語以外の語学や、英語以外の特殊講義のみを履修する者は、**2025年2月17日(月曜)17時**までに教務入試班に電子メールまたはFAXにより願い出た場合に限り、英語面接の代わりに小論文を選択できます。

また、出願者数が一定以下の場合には下表のとおり筆記試験、面接試験を免除することがあり、試験要否は出願日以降に連絡するものとします。

【試験免除】

出願者の区分		筆記試験/ 英語面接試験	面接試験	備考
前年度からの継続出願者		免除	免除	課程変更の場合は免除されない (一般課程と語学課程は同一課程とみなす)
本学卒業生 (卒業後 10年以内)	初出願 再出願	免除	免除	卒業学科の専攻言語と別の言語の科目を履修する 場合、筆記試験・英語面接のみを免除する
5年以内の間を空けての 再出願		免除	免除	課程変更の場合は免除されない (一般課程と語学課程は同一課程とみなす)

6. 合格発表の日時・方法

2025年3月20日(木曜・祝日)

合格者に合格通知書等を送付します。また、本学ホームページ(<https://www.kobe-cufs.ac.jp>) にも合格者の受験番号を掲載します。ただし、ホームページ上の発表は参考としての掲載となりますので、必ず合格通知書により確認してください。

7. 入学手続き

合格通知書とともに郵送する入学手続きの案内を確認の上、期限までに手続きを完了してください。

なお、期限までに入学手続きを完了しない方は、入学を辞退したものと取り扱い、これ以降の入学は認めません。

(1) 手続き期限 2025年3月27日(木曜) 15時 [必着]

(2) 手続き方法 入学手続きは原則郵送により行ってください。

やむを得ない理由により郵送による手続きが困難な場合は持参での入学手続きを認めます。

[持参の受付時間：3月27日(木曜) 10時～12時30分／13時30分～15時]

8. 入学金・授業料と入学手続き時に必要な書類

(1) 入学金 (払込書は合格通知に同封)

a. 神戸市民及びその子弟 28,200円

b. 上記以外の者 42,300円

※ 「神戸市民」とは、入学者本人が2025年4月1日の1年前から引き続き神戸市に住所を有している場合をいいます。「その子弟」とは、入学者本人は「神戸市民」ではないが、入学者が神戸市民の配偶者または神戸市民の2親等内の親族であり、その配偶者または2親等内の親族が2025年4月1日の1年前から引き続き神戸市に住所を有している場合をいいます。

(2) 授業料 (一般課程科目・語学課程科目)

授業料は2025年4月に提出される履修科目届により算定し、個別に通知します。

(納付期限は前期授業料は5月末、後期授業料は10月末です。)

・通年講義科目1科目につき 59,400円

・半年講義科目1科目につき 29,700円

※ 兼修語学(英語を除く) 1階程は[1]と[2]両方の2科目受講が必要です。

(通年科目2科目分 118,800円)

※ 現行の授業料は上記のとおりですが、金額は今後改定することがあります。

(3) 入学手続き時に必要な書類 (用紙は合格通知に同封)

① 入学金振替払込受付証明書貼付書 ※入学金の払込みが必要な方のみ

神戸市民およびその子弟の場合は、「入学金納付区分神戸市民及びその子弟該当認定申請書」と住民票等も提出が必要です。

- ② 同意書
- ③ 宣誓書
- ④ 写真票
- ⑤ 科目等履修生記録（写真貼付のこと）

※ 前年度から引き続き履修する場合も①～⑤の提出が必要です。

（①は、入学金払込不要の方は、住民票等も含めて提出していただく必要はありません。）

9. その他

- (1) 既納の入学金は、いかなる理由があろうと返還しません。
- (2) 履修期間中に退学するときは、学長あてに退学願を提出しなければなりません。
- (3) 科目等履修生に対しては、学割証明、通学証明等の発行はできません。
- (4) 本学への車両通学は、ご遠慮願います。
- (5) 4月に2025年度前・後期分の「履修科目届」を提出していただきますが、後期履修科目は9月の指定期間に取消・変更が可能です（指定期間は、入学手続き書類郵送時に同封の「履修科目届について」に記載しています）。変更届を提出した科目等履修生の後期授業料は、変更後の科目数に基づき、通知します。
- (6) 本学の授業時間は以下のとおりです。

学部	
時限	時間
1 限	8:50～10:20
2 限	10:30～12:00
3 限	12:45～14:15
4 限	14:25～15:55
5 限	16:05～17:35

第2部	
時限	時間
6 限	17:50～19:20
7 限	19:30～21:00

（大学への交通機関）

- 新幹線新神戸駅から市営地下鉄で約 27 分
 - 三宮駅から市営地下鉄で約 24 分
 - 舞子駅から市バス・山陽バス 51、53、54 系統で約 30 分
 - 垂水駅から市バス・山陽バス 48、171 系統で約 30 分
- } 学園都市駅 / 学園都市駅前バス停車、
徒歩すぐ

【問い合わせ先】

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1

神戸市外国語大学

学生支援・教育グループ 教務入試班

TEL (078) 794-8133

FAX (078) 794-8338

EMAIL kyomu@office.kobe-cufs.ac.jp

〔(一般課程) 学部〕 科目一覧

兼修語学		ロシア語[I階程[1]・[2]一括④], 中国語[I階程[1]・[2]一括④], スペイン語[I階程[1]・[2]一括④], フランス語[I階程[1]・[2]一括④], ドイツ語[I階程[1]・[2]一括④]
		[イタリア語I②], [ポルトガル語I②], [インドネシア語②], [朝鮮語I②], [エスペラント語②], [東洋諸語②], 東欧諸語1①・2①・3①・4①
学科基礎科目 (英米学科)	英国史, 英国の文化, 米国史, 米国の文化, 英国の社会1・2, 米国の社会1・2, 英語圏の文化と社会1・2, 英文学史1・2, 米文学史1・2, 英語学概論1・2, 英語研究入門1・2	
学科基礎科目 (ロシア学科)	ロシア文化史1・2, ロシアの社会1・2, ロシア地域論1・2・3・4, ロシア文学史1・2, ロシア史1・2, ロシア語学入門, ロシア学入門, ロシア文化入門1・2	
学科基礎科目 (中国学科)	中国文化論, 中国社会論, 中国経済論, 中国の法と政治, 現代中国論, 中国地域論, 中国歴史論, 中国文学史1・2, 中国語学基礎論1・2, 東洋思想1・2	
学科基礎科目 (イスパニア学科)	イスパニア文化史1・2, 中南米文化史1・2, イスパニアの社会1・2, 中南米の社会1・2, 中南米地域研究1・2, イスパニア文学史1・2, ラテンアメリカ文学史1・2, イスパニア語学概論1・2, Preparación para el DELE (DELE 対策演習)1・2	
学科基礎科目 (国際関係学科)	国際機構論, 国際関係学特別講義, 国際経済関係史, 地球市民社会論1・2・3・4	
全学 共通科目	人文領域	宗教学入門, 哲学概論, 日本思想史, 仏教学, 倫理学入門, ジェンダー論入門, 社会学入門, アメリカ地域論, ヨーロッパ地域論入門, 西洋史, 東洋史入門, 日本史入門, 歴史学入門, 言語学入門, 日本語学概論1・2, 日本文学論入門, 日本文化入門, 近現代日本社会入門, 言語学基礎論1・2, 音声学1・2, 古典語(ラテン語)1・2, 中東欧研究入門1・2・3・4
	社会科学 領域	現代の法, 現代の政治, 憲法1・2, 現代日本経済論1・2, 地域経済と企業, 経済経営入門, 現代国際法政問題, 現代国際経済問題, 現代国際文化問題, 現代の企業経営, 国際ビジネス・コミュニケーション, ビジネスロシア語1・2, ビジネス中国語1・2, 商業イスパニア語1・2, 現代世界経済論1・2, 社会開発論, 社会人類学入門
	自然・人間 科学領域	自然の認識1・2, 東の科学, 西の科学, 数理の世界1・2, 情報科学概論1・2・3, 人権論, 人権教育, 環境と人間, 人間形成論入門, 社会心理学入門1・2, 臨床心理学入門1・2, 生涯教育論1・2, 児童英語教育, スポーツ方法1①, スポーツ方法2①, ジャーナリズム論1
コース 科目	国際法政 コース	【基礎】 民法1・2, 政治学1・2, 比較政治1・2, 国際法「基本」1・2, 国際政治経済学, アジア国際関係史1・2, アメリカ政治1, 中国法政論 【発展】 東南アジア地域論: 政治, 民法3・4・5, 商法1・2, 行政法1・2, 労働法, 国際取引法1・2, 法政特論1・2, 途上国地域社会論1・2, 国際紛争処理法, 国際法「発展」1・2, 国際私法1・2, 東南アジア地域論特殊講義: 政治, アフリカ政治1・2, アメリカ政治2, 移民社会論演習, ロシア政治経済論1・2
	経済経営 コース	【基礎】 ミクロ経済学1・2, マクロ経済学1・2, 簿記原理, 統計学1・2, 経営学1・2, 近代世界システム成立史 【発展】 国際経営論1・2, 東南アジア地域論: 経済, ミクロ経済政策1・2, マクロ経済政策1・2, 産業組織の経済学1・2, 経済学演習1・2, 経済学特殊講義1・2・3・4, 経営学特殊講義1・2, 会計学1・2, マーケティング論1・2, 国際商務論1・2, 商業英語1・2, 国際金融論1・2, 国際貿易論, 貿易政策論, 開発経済論1・2, 多国籍企業論1・2, 金融論1・2, 東南アジア地域論特殊講義: 経済, 財政学1・2, 公共政策, 労働経済, 計量経済学1・2, ゲーム理論
	多文化共生 コース	【基礎】 宗教と社会の共生, ヨーロッパ地域論, 移民社会論, 朝鮮文化論1, 外国人学習者の観点から見た日本語, 日本語の形と意味, 日本語の多様性, 民族誌学1, 近現代日本社会, アジアの文化と社会の共生1・2, アジア言語文化の諸問題, フランスの思想と社会1, 出版と編集1, 文化と政治, 社会調査分析1・2, 言語と国家, 社会人類学, コミュニケーション論, 異文化間コミュニケーション論, 英米文学特殊講義(現代社会)1・2, バリアフリー論, 日本手話, 環境論1 【発展】 比較地域研究1・2, フランスの社会, 朝鮮文化論2, 民族誌学2, 日本語の談話研究, 日本語変異の研究, 近現代日本社会研究1・2, 言語文化の多様性とアジア1・2, フランスの思想と社会2, 出版と編集2, 東南アジアの社会と文化, 言語と文化, 社会人類学研究, ジェンダー共生論演習, 社会共生論演習, プロジェクト演習, 移民社会論演習, 環境論2

リベラル アーツ コース	<p>【基礎】 宗教学基礎論，西洋哲学史，倫理学，社会学，フランス文化論1，ヨーロッパ文化史1，ヨーロッパ文化論1，ヨーロッパ文学論，東洋史，日本史，日本文学論，言語類型論，歴史言語学，古典語（ギリシャ語）1・2，日本語教育の基礎，人間形成論，日本語の文法，日本語の音声，日本の文化，西洋古典学1，哲学，自然科学（基礎）1・2，人間関係論1・2，スポーツ文化論1・2，中欧文化史1，ヨーロッパにおけるドイツ1，フランス文学論1，ジェンダー論，文化芸術論1，</p> <p>【発展】 フランス文化論2，ヨーロッパ文化史2，ヨーロッパ文化論2，日本文化の諸相1・2，言語学研究1・2，西洋古典学2，西洋史研究，アジア言語文化1・2，歴史学特殊講義，自然科学（発展）1・2，スポーツ文化論演習「第1」1・2，スポーツ文化論演習「第2」1・2，一般言語学から見た日本語，日本語の統語論的研究，日本語の意味・機能研究，日本語音声・音韻の研究，日本文化研究1・2，アジア言語学1・2，哲学特殊講義1・2，中欧文化史2，ヨーロッパにおけるドイツ2，フランス文学論2，社会心理学演習1・2，臨床心理学演習1・2，現代文明論，文化芸術論2</p>
GCP 科目	<p>【選択科目】 (全学共通科目（社会科学領域）) 国際ビジネス・コミュニケーション (語文コース科目：基礎) メディア論 (多文化共生コース科目：基礎) コミュニケーション論，異文化間コミュニケーション論</p>

※ 兼修語学（英語を除く）I階程の科目は各言語とも、[1]と[2]両方の2科目受講が必要です。

※ []科目は通年科目（集中講義を含む）、それ以外は半期科目。

※ 科目名の後の丸囲い数字は単位数（①は1単位）を表す。

※ 単位数の表示の無い科目は、通年科目は4単位、半期科目は2単位。

〔(一般課程) 第2部〕科目一覧

兼修語学	ロシア語[I階程[1]・[2]一括④]，フランス語[I階程[1]・[2]一括④]，ドイツ語[I階程[1]・[2]一括④]	
学科基礎科目 (第2部英米 学科)	英国史，英国の文化，米国史，米国の文化，英国の社会1・2，米国の社会1・2，英語圏の文化と社会1・2，英文学史1・2，米文学史1・2，英語学概論1・2，英語研究入門1・2	
全学 共通 科目	人文領域	宗教学入門，宗教学基礎論，哲学概論，日本思想史，西洋哲学史，ジェンダー論入門，社会学入門，社会学，ヨーロッパ地域論入門，ヨーロッパ地域論，文化人類学1・2，アジア言語文化の諸問題，西洋史，日本史入門，日本史，歴史学入門，言語学入門，日本語学概論1・2，日本語の形と意味，日本語の文法，日本語の多様性，日本語の音声，日本文学論入門，日本文学論，日本文化入門，近現代日本社会入門，日本文化入門「第3」1・2，言語学基礎論1・2，言語類型論，歴史言語学，音声学1・2，古典語（ギリシャ語）1・2，古典語（ラテン語）1・2，日本語教育の基礎，外国人学習者の観点から見た日本語
	社会科学 領域	憲法1・2，現代の法，現代の政治，現代の経済，現代日本経済論1・2，ミクロ経済学1・2，マクロ経済学1・2，経済経営入門，簿記原理，日本と世界1・2
	自然・人間 科学領域	自然の認識1・2，数理の世界1・2，統計学1・2，情報科学概論1・2・3，人権論，人権教育，人間形成論入門，人間形成論，社会心理学入門1・2，臨床心理学入門1・2，児童英語教育，スポーツ文化論1・2，スポーツ方法1①，スポーツ方法2①，ジャーナリズム論1・2
コース 科目	民法1・2・3・4・5，商法1・2・3・4，行政法1・2，労働法，経済法1・2，英米法1・2，国際取引法1・2，政治学1・2，比較政治1・2，法政特論1・2，ミクロ経済政策1・2，マクロ経済政策1・2，国際貿易論，貿易政策論，産業組織の経済学1・2，計量経済学1・2，経済学特殊講義1・2，アメリカ経済論，経営学1・2，経営学特殊講義1・2，会計学1・2，国際商務論1・2，商業英語1・2，国際金融論1・2，国際法「基本」1・2，アメリカ政治1・2，ゲーム理論	
その他	日本の文化，近現代日本社会	

※ 兼修語学（英語を除く）I階程の科目は各言語とも、[1]と[2]両方の2科目受講が必要です。

※ []科目は通年科目（集中講義を含む）、それ以外は半期科目。

※ 科目名の後の丸囲い数字は単位数（①は1単位）を表す。

※ 単位数の表示の無い科目は、通年科目は4単位、半期科目は2単位。

〔(語学課程) 学部〕 科目一覧

兼修語学	英語	[Ⅰ階程[1]講読②], [Ⅰ階程[2]作文会話②], [Ⅱ階程[1]講読②], [Ⅱ階程[2]作文会話②], [Ⅲ階程 各②]
	ロシア語	[Ⅱ階程[1]②], [Ⅱ階程[2]②], Ⅲ階程①
	中国語	[Ⅱ階程[1]②], [Ⅱ階程[2]②], Ⅲ階程①
	スペイン語	[Ⅱ階程[1]②], [Ⅱ階程[2]②], Ⅲ階程①
	フランス語	[Ⅱ階程[1]②], [Ⅱ階程[2]②], Ⅲ階程①
	ドイツ語	[Ⅱ階程[1]②], [Ⅱ階程[2]②], Ⅲ階程①
		[イタリア語Ⅱ②], [ポルトガル語Ⅱ②], [朝鮮語Ⅱ②]
語学文学 コース	【基礎】 英米文学・文化研究入門, 英米文学と視覚文化, 英米文学と社会, 比較文学, 現代の思想と文化, 英語史1・2, 統語論講義, 意味論講義, 語用論・談話分析講義, 音声学・音韻論講義, 構文研究, 語法文法研究, 応用言語学1・2, 社会言語学, 小学校英語教育論, 英語学特殊講義(現代社会)1・2	
	【発展】 イギリス文学特殊講義1~4, アメリカ文学特殊講義1~4, 英語圏文学特殊講義1~2, 英語文学・文化特殊講義1~8, 英語学特殊講義1~4	
	【基礎】 ロシア文学基礎講義1, ロシアの文学と思想1・2, ロシア文化特殊講義1, ロシア語語形成論, ロシア語語彙・文法研究, ロシア語対照言語学, ロシア語意味論1・2, ロシア語学演習1, ロシア語コミュニケーション演習1・2	
	【発展】 ロシア文学特殊講義1・2, ロシア文学原典講読1・2, ロシア語歴史研究1・2, ロシア文化特殊講義2, ロシア語学特殊講義1・2, ロシア語アカデミックライティング, ロシア語通訳・翻訳研究, ロシア・スラヴ研究, ロシア語動詞研究1・2	
	【基礎】 中国文学特殊講義1・2・3・4, 中国語学特殊講義1・2・3・4・5, 中国文化特殊講義1	
【発展】 中国文学特殊講義5・6, 中国語学特殊講義6・7・8・9・10・11・12, 中国文化特殊講義2		
【基礎】 イスパニア文学特殊講義1・2, ラテンアメリカ文学特殊講義1・2, イスパニア語学特殊講義1・2, イスパニア文化特殊講義1・2, ラテンアメリカ文化特殊講義1・2		
【発展】 イスパニア文学特殊講義3・4, ラテンアメリカ文学特殊講義3・4, イスパニア語学特殊講義3・4, イスパニア文化特殊講義3・4, ラテンアメリカ文化特殊講義3・4		
GCP 科目	【コア科目】 (語文コース科目:基礎) ●パブリック・スピーチ, ●メディア英語演習1, ●メディア英語演習2, ●英語学特殊講義(現代社会)3(51100400) (語文コース科目:発展) ●放送通訳 (経済経営コース科目:基礎) ●神戸研究	
	【選択科目】 (語文コース科目:基礎) ●通訳(基礎), ●会議通訳(逐次), ●翻訳, ●翻訳理論, ●映画研究 (語文コース科目:発展) ●会議通訳(同時) (多文化共生コース科目:基礎) ●コミュニケーション学概論	

※ 兼修語学Ⅱ階程、Ⅲ階程は、本学にて1つ前の階程の単位を修得済み、またはそれに相当するレベル以上の方のみ受講可能です。受講にあたっては事前に確認が必要なため、**2025年2月17日(月曜)17時まで**に、電子メールまたはFAXにより教務入試班へご連絡ください。

※ []科目は通年科目(集中講義を含む)、それ以外は半期科目。

※ 科目名の後の丸囲い数字は単位数(①は1単位)を表す。

※ 単位数の表示の無い科目は、通年科目は4単位、半期科目は2単位。

※ ●印の科目は、初回授業までに教務入試班に**TOEICスコア証明書の提出**が必要となります。提出がない場合は履修することができません。(各科目の受講に必要なTOEICスコアの要件は次ページをご確認ください。)

〔(語学課程) 第2部〕 科目一覧

専攻語学	英語	[Ⅰ階程各② (文法と発音は半期①)], [Ⅱ階程各②], [Ⅲ階程各④], [Ⅳ階程各④] (※各階程、会話は除く)
兼修語学	ロシア語	[Ⅱ階程[1]②], [Ⅱ階程[2]②], Ⅲ階程①
	中国語	Ⅲ階程①
	イスパニア語	Ⅲ階程①
	フランス語	[Ⅱ階程[1]②], [Ⅱ階程[2]②]
	ドイツ語	[Ⅱ階程[1]②], [Ⅱ階程[2]②]
英語学・英語研究 コース	英語学特殊講義 1～4, 音声学・音韻論講義, 統語論講義, 意味論講義, 語用論・談話分析講義, 応用言語学 1・2, 構文研究, 語法文法研究, 社会言語学, 英語史 1・2	
英語圏文化文学 コース	イギリス文学特殊講義 1～4, アメリカ文学特殊講義 1～4, 英語圏文学特殊講義 1～2, 英語文学・文化特殊講義 1～8, 英米文学・文化研究入門, 英米文学と視覚文化, 英米文学と社会, 比較文学, 現代の思想と文化, 西洋史研究, 比較地域研究 1・2	

※ 専攻語学・兼修語学のⅡ階程、Ⅲ階程、Ⅳ階程は、本学にて1つ前の階程の単位を修得済み、またはそれに相当するレベル以上の方のみ受講可能です。受講にあたっては事前に確認が必要なため、**2025年2月17日(月曜) 17時まで**に、電子メールまたはFAXにより教務入試班へご連絡ください。

※ []科目は通年科目(集中講義を含む)、それ以外は半期科目。

※ 科目名の後の丸囲い数字は単位数(①は1単位)を表す。

※ 単位数の表示の無い科目は、通年科目は4単位、半期科目は2単位。

〔(語学課程) 学部〕のうち

TOEICスコア証明書の提出が必要な科目とスコア要件

初回授業までに教務入試班にTOEICスコア証明書の提出が必要となります。提出がない場合は履修することができません。

授業科目	TOEICスコア 証明書要否	単位数	備考(科目区分)
パブリック・スピーチ	必要・785点以上	2	コース科目 語文(英・基礎)
メディア英語演習1	必要・650点以上	2	コース科目 語文(英・基礎)
メディア英語演習2	必要・650点以上	2	コース科目 語文(英・基礎)
英語学特殊講義(現代社会)3 【授業コード 51100400】	必要・785点以上	2	コース科目 語文(英・基礎)
放送通訳	必要・785点以上	2	コース科目 語文(英・発展)
神戸研究	必要・785点以上	2	コース科目 経済経営(基礎)
通訳(基礎)	必要・785点以上	2	コース科目 語文(英・基礎)
会議通訳(逐次)	必要・785点以上	2	コース科目 語文(英・基礎)
会議通訳(同時)	必要・785点以上	2	コース科目 語文(英・発展)
翻訳	必要・785点以上	2	コース科目 語文(英・基礎)
コミュニケーション学概論	必要・550点以上	2	コース科目 多文化共生(基礎)
翻訳理論	必要・785点以上	2	コース科目 語文(英・基礎)
映画研究	必要・785点以上	2	コース科目 語文(英・基礎)